

進路相談員通信そうや

保護者向け



令和5年5月24日発行
北海道教育庁宗谷教育局
キャリアプランニングスーパーバイザー
進路相談員：菅野 美幸

就職を希望する生徒の保護者の皆様へ

全道における求人・求職状況は、平成31年度から就職希望者数よりも求人者数の方が多く、売り手市場となっています。北海道全体(下記表1)のとおり、前年同月比を10%上回る求人数となっています。ここ数年、宗谷管内においても就職内定100%に達しており、就職難ではない状況になってはいますが、必ずしもお子様の希望する業種や職種を選択できるだけの多様な求人環境ではない中、お子様は受験先を選択して就職いたします。(※その反面、早期離職も課題となっています)。高校生の進路先を安易に決定してしまうことがないよう、御家庭でお子様の話を聞くことや相談に応じることも大切になります。

(表1)新規高卒者に対する求人・求職状況

令和5年3月卒業者(令和5年3月末 北海道労働局HP)

卒業(就職)年	令和5年3月卒業者	令和4年3月卒業者	増減(%)
就職希望者数	5,193名	5,664名	△8.3%
求人者数	17,946名	16,466名	9.0%
求人倍率	3.46倍	2.91倍	0.55P
就職内定者数	5,127名	5,569名	△7.9%

就職率向上の一方で、早期離職も増加しています。北海道における新卒者の早期離職率(下記表2)は就職後3年間で半数とまではいきませんが、多くの方が早期離職をしています。

(表2)過去3年間の離職状況(北海道)

(令和4年11月21日北海道労働局HP)

就職期間 卒業時期	卒業時から令和4年3月 までの間(%)	在職期間別離職率(%)		
		1年目	2年目	3年目
平成31年3月	41.6%	19.1%	11.2%	11.3%
令和2年3月	33.0%	20.1%	12.9%	
令和3年3月	21.1%	21.1%		

早期離職理由	早期離職によるリスク
・仕事が合わなかった ・人間関係が良くなかった ・労働条件が悪かった	・職務経験が少ない ・技能、知識がない ・資格や技術がない



※早期離職によるリスク!

早期離職の理由としては、労働条件や環境などイメージの相違等があげられ、採用した人材が早期離職してしまうことは、事業所にとって先行投資が無駄になってしまい、新たな雇用を確保することが困難になるなど、大きなリスクを負うことにもなります。お子様にとっても、次に仕事を探す際は一般求職者としての扱いになり、正社員求人での再就職が厳しくなります。将来を見据えてしっかりとしたアドバイスをお願いいたします。